

- 第11回 全日本少年少女空手道選手権大会山口県予選大会
 第19回 全国中学校空手道選手権大会山口県予選大会
 第19回 中国地区少年少女空手道選手権大会山口県予選大会
 第13回 山口県中学校空手道選手権大会

開催要項

- 1 主催 山口県空手道連盟 山口県中学校空手道連盟
- 2 共催 山口県教育委員会 (財)山口県体育協会
- 3 主管 下関市空手道連盟
- 4 日時 平成23年5月1日(日) 9:00~17:00
- 5 会場 下関市豊浦夢が丘スポーツセンター TEL 083-775-4113
下関市豊浦町大字小串140番地

6 競技種目

(ア) 組手競技の部

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 小学生男子組手個人戦(1~6年生) | (2) 小学生女子組手個人戦(1~6年生) |
| (3) 中学生男子組手個人戦 | (4) 中学生女子組手個人戦 |
| (5) 団体組手男子(同じ中学校で編成) | (6) 団体組手女子(同じ中学校で編成) |

(イ) 形競技の部

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 小学生男子形個人戦(1~6年生) | (2) 小学生女子形個人戦(1~6年生) |
| (3) 中学生男子形個人戦 | (4) 中学生女子形個人戦 |
| (5) 団体形男子(同じ中学校で編成) | (6) 団体形女子(同じ中学校で編成) |

7 競技規定

全日本空手道連盟競技規定及び山口県空手道連盟審判規定・本大会申合せ事項による。

(別紙 添付)

8 参加資格

- (1) 山口県空手道連盟及び全日本空手道連盟会員登録済みの者。
- (2) 傷害保険加入者(未加入者は出場不可とします)
- (3) 新小学1年生 ~ 新中学生3年生であること。

9 申込み先

10 参加費

1種目につき1,000円(形・組手2種目の場合は2,000円・団体戦は1,500円)

1 1 振込先

1 2 締切日 平成23年3月26日(土) 必着

※参加者申込書を送付の時、大会参加費の振込み用紙のコピー同封の事。

(参加申込書は、郵送で願います、FAXは受け付けません)

1 3 注意事項

- ① 組手に出場の選手は、全空連指定の防具を使用の事。
- ② 小学生3～6年生男子組手種目は、必ずファールカップを着用の事。
2年生以下は、所属の指導者の判断に任せる。
- ③ 安全具未着用の選手は、失格となるので十分注意の事。
- ④ 健康保険証は各自持参の事。負傷者に対しては応急処置までとする。
- ⑤ 団体戦は3名編成とし、同じ中学校で編成する事。
- ⑥ 形試合(予選・決勝共トーナメント方式)
予選(ベスト8選出まで)
小学生: 制定形(撃砕I・II、平安またはピンアン初段～5段)
中学生: 全空連第一指定形・第二指定形・制定形(撃砕I・II、平安またはピンアン初段～5段)
※ 同一形を連続してもよい。
決勝(ベスト8から)
小・中学生とも自由形とし、同一形を連続してもよい。
ただし、予選で演武した形は使用できない。
- ⑦ 小学生の形・組手の両競技は出場不可である。
- ⑦ 染髪については、指導者・監督の管理において注意して下さい。

1 4 小学生の各種目の上位2名は、第11回全日本少年少女空手道選手権大会に出場(全少大会)ただし、形・組手の2種目に重複して出場できないのでどちらか1種目を選び申込をする。その種目に欠員が生じた場合は3位の選手を出場選手とする。

中学生の各種目の上位2名は、第19回 全国中学校空手道選手権大会の出場とする。その種目に欠員が生じた場合は3位の選手を出場選手とする。

(形・組手・団体の重複は可)

全国大会への出場参加費・旅費・食費・経費等は、各個人負担とする。

1 5 個人カルテを記入して申込みをしてください。(別紙)

1 6 中国大会予選(小学5・6年生 組手・形競技の部)は、国体予選時に行う。

17 必ず、市郡連理事を通して一括申込みを行ってください。

大会当日の参加料の受付は一切いたしません。

◎ 大会当日、弁当が必要な方は、申込み用紙に数量を記入してください。

◎ 弁当金額 800円/個です。

平成 23 年度全国少年少女県予選及び中学校選手権大会 競技規定

1. 形競技（個人戦）

1) 予選・決勝ともトーナメント方式とする。

2) 予選（ベスト 8 選出まで）

小学生：制定形（撃砕 I・II、平安またはピンアン初段～5 段）

中学生：全空連第一指定形・第二指定形・制定形（撃砕 I・II、平安またはピンアン初段～5 段）

※ 同一形を連続してもよい。

3) 決勝（ベスト 8 から）

小・中学生とも自由形とし、同一形を連続してもよい。

ただし、予選で演武した形は使用できない。

※ 主審は、決勝戦開始前に選手に決勝戦開始を告げる。

4) 演武は、予選・決勝とも 2 名で行う。

5) 演武開始は、笛の合図で行う。

6) 勝敗の判定は、コート外で行う。

7) 審判員は予選・決勝とも 5 名編成とする。

2. 形競技（団体戦）

1) 予選・決勝の形は、個人戦と同様。

2) 演武は、予選・決勝とも 1 チームで行う。

3) 演武開始は、各チームで自主的に行う。

4) 勝敗の判定は、コート外でおこなう。

5) 審判員は予選・決勝とも 5 名編成とする。

3. 組手競技（個人戦）

1) 勝敗：小・中学生とも 6 ポイント先取りとする。

2) 時間：小・中学生とも 1 分 30 秒フルタイムとする。

4. 組手競技（団体戦：中学生のみ）

1) 1 チーム 3 名、集合時 2 名も認める。

2) 勝敗が決まった時点で終了とする。

5. 組手競技共通

安全具：JKF公認のメンホー、拳サポータ、胴プロテクター、セーフティカップを着用。

（セーフティカップは、小学 3 年生以上義務つけとする。未着用の選手は失格）

（拳サポータについて：小学生は赤・青あるいは赤・青リバーシブルの拳サポータ、中学生は赤・青の拳サポータ着用を義務つける）

6. すべての種目で 3 位決定戦を行う。

7. 組手競技においては、テンカウトルールは採用しない。

8. 組手競技においては、頭部・顔面・頸部への手技のスキントッチは認めない。ただし、上段蹴りはスキントッチの場合得点となる。